

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

今日は秋分の日。太陽が真東から昇って真西に沈み、昼と夜の時間が等しくなる日とされている。秋分の日の前夜三日間を合わせた

七日間が秋のお彼岸だが台風14号の被害の後遺症は長引きそうだ。気象庁では毎年1月1日以後、最も早く発生した台風を第1号とし、以後の台風の発生順に番号を付けている。2000年からは、北西太平洋または南シナ海で発生する台風防災に関するアジア各国の政府機関である台風委員会が、アジア各国・地域の文化の尊重と連帯の強化・相互理解を推進し人々に防災意識を高めようと台風風にアジア名を付けている。今回の台風14号は、ミクロネシアが命名した「ナンマドル」。

ポンペイ島にある「ナンマトル」という遺跡に由来する名だ。140個のアジア名のうち日本からは、星座名に由来する名前10個が提案されている。だが残念な事に台風情報でアジア名称の情報発信が

## 異常気象への対応力が求められている

「数十年に一度の大規模災害」・「経験した事のない」など機械音で流される放送は、聴きやすく繰り返される情報は高齢化社会には画期的な技術だと改めて感じる。今後ますますAI技術が進む中で、

地方に暴風のさなか、突如として直径10センチを超える氷の塊が10分間にわたり降り注ぎ骨折などのケガをしただけでなく、女児が死亡する悲劇が起きた。パキスタンの一部の州では例年の5倍を超える降水量の影響で、6月から洪水が発生した状況が続いている。アメリカ・ミシシッピ州では8月下旬「500年に一度」といわれる大雨により甚大な被害が。日本でも昨年から

「例年以上に降雪量が多い」「例年以上に寒さ厳しい冬」との情報。例年並みの気候にならない事態を想定する事



かれんなソバの花畑が地域の魅力を引き立てている

も覚悟しなくてはならないのだろうか。(信州地域社会フォーラム会員・白馬村森上)